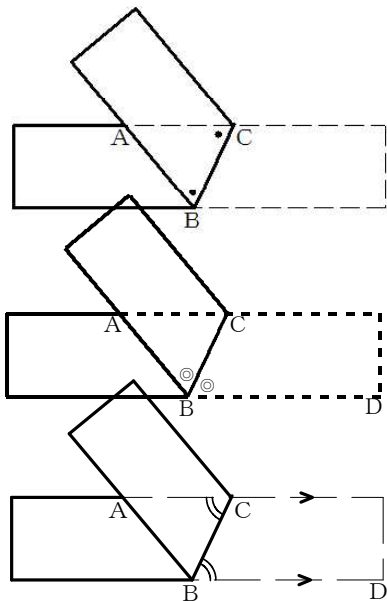


## 2. 二等辺三角形(N0.2)



長方形のテープを左の図のように折ったとき、重なった部分の三角形 ( $\triangle ABC$ ) はどんな三角形になるだろうか？

！ヒント！ $\angle B = \angle C$  となるわけをいいなさい。

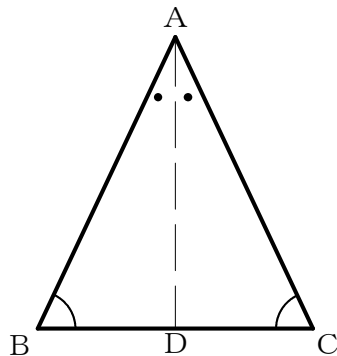
左の図で、折り返した部分の角は等しいから  
 $\underline{\hspace{2cm}} = \underline{\hspace{2cm}}$  ……①

左の図で、平行線の錯角は等しいから  
 $\underline{\hspace{2cm}} = \underline{\hspace{2cm}}$  ……②

①、②から  
 $\angle ABC (\angle B) = \angle ACB (\angle C)$

2角が等しい三角形

定理3 二つの角が等しい三角形は、二等辺三角形である。



【仮定】  $\angle B = \angle C$       【結論】  $AB = AC$

《証明》  $\angle A$  の二等分線と  $BC$  との交点を  $D$  とする。

$\triangle ABD$  と  $\triangle ACD$  で、  
 $AD$  は  $\angle A$  の二等分線だから、  
 $\angle BAD = \angle CAD$  ……①

仮定より、 $\angle B = \angle C$  ……②

三角形の内角の和は  $180^\circ$  と、  
 ①、②から、 $\angle ADB = \angle ADC$  ……③

また、 $AD$  は共通だから、  
 $AD = AD$  ……④

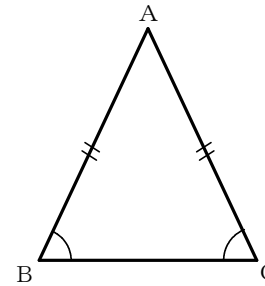
①、③、④から、 $\triangle ABD \cong \triangle ACD$  が、それぞれ等しいので、

$\triangle ABD \cong \triangle ACD$   
 合同な図形の対応する辺は等しいので、

$AB = AC$  (結論)

定理1 二等辺三角形の2つの底角は等しい

定理3 二つの角が等しい三角形は、二等辺三角形である



$\triangle ABC$  において 上の2つの定理は  
 定理1の 仮定  $AB = AC$  ならば 結論  $\angle B = \angle C$

定理3の 仮定  $\angle B = \angle C$  ならば 結論  $AB = AC$

ある定理の仮定と結論をいれかえたものを

その定理の    という

〔問題1〕 次のことがらの逆をいいなさい。また、( ) に、真か偽か答えなさい。偽の場合、例をあげなさい。

(1) 整数  $a, b$  で、 $a$  も  $b$  も偶数ならば、 $a + b$  は偶数である。

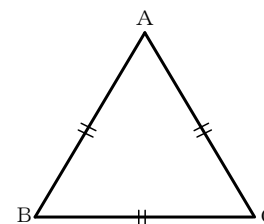
逆 整数  $a, b$  で、 $a + b$  は偶数ならば、 $a$  も  $b$  も偶数である。( )  
 偽の場合の例外

(2)  $\triangle ABC$  で、 $\angle A = 90^\circ$  ならば、 $\angle B + \angle C = 90^\circ$  である。

逆  $\triangle ABC$  で、 $\angle B + \angle C = 90^\circ$  ならば、 $\angle A = 90^\circ$  である。( )  
 偽の場合の例外

あることがらが正しいとしても、その逆が正しいとは限らない。

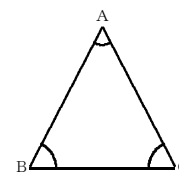
### ★正三角形



正三角形の定義  
 3つの辺が等しい三角形を、正三角形という。

- 正三角形は3つの辺が等しい三角形だから、二等辺三角形の特別なものだといえる。
- したがって、正三角形は二等辺三角形の性質をすべてもっている。

〔問題2〕  $\triangle ABC$  で、 $\angle A = \angle B = \angle C$  ならば、 $AB = BC = CA$  であることを証明しなさい。



【証明】

2つの角が等しい三角形は二等辺三角形だから、

$\triangle ABC$  で、 $\angle A = \angle B$  から  $CA = CB$  ……①

$\angle B = \angle C$  から  $AB = AC$  ……②

①、②より  $AB = CA = CB$